

## 復興のポイントIV 競争力と魅力ある水産業の形成

### 1 漁場・資源

#### ◆資源管理・漁業所得補償対策◆

漁業や養殖業の復旧とともに、漁業共済の加入、資源管理計画や漁場改善計画の関連漁協、漁協支所からの提出が進み、県による認定・確認が行われており、当該対策への加入が進められました。

主な事業		
課名	事業費（千円） 〔決算額〕	事業名
水産業基盤整備課	6,238 [6,040]	資源管理・漁業改善推進事業
食産業振興課	10,000 [9,959]	県産農林水産物等イメージアップ推進事業

## 一主な取組一

### ○資源管理・漁業所得補償制度について

(関連事業：資源管理・漁場改善推進事業)

平成23年度から漁業共済を活用した資源管理・漁業所得補償対策がスタートしました。漁業、養殖業の復旧とともに、資源管理計画や漁場利用計画の関係漁協、漁協支所からの提出が進み、県による認定・確認が行われており、当該対策（漁業共済）への加入が進んでいます。

#### 1 概 要

漁業は、毎年の収入の変動が大きいことから、経営の安定化を図るため、漁船漁業においては資源管理措置、養殖漁業においては、漁場改善に取り組むことを条件に、漁業共済掛金の負担軽減や積立ぶらすの加入要件の撤廃等により共済制度を活用した所得の安定を図るもので

#### 2 メリット

##### (1) 漁業共済掛金の負担軽減が図られます。

- ✓ 共済掛金の国庫補助額に、平均で30%程度上乗せ補助（45%→75%）する。
- ✓ 積立ぶらすの積立金国庫負担分の増加（1：1→1：3）
- ✓ 積立ぶらすの加入要件の撤廃（経営改善要件、所得要件、主業、年齢要件等）  
※共済加入率の向上が期待される。

##### (2) 資源管理型漁業の推進及び養殖漁場の環境維持

- ✓ 資源管理計画の実践により漁業者自ら取り組む資源管理措置が推進され、適正資源量を維持します。
- ✓ 漁業が行われるとともに、漁場利用計画により適正養殖量による養殖が行われ、漁場環境の維持保全が図られます。

#### 3 推進体制

##### ○平成23年6月28日

宮城県が本県資源管理の取組の指針となる「宮城県資源管理指針」を策定（国が承認）

##### ○隨時

漁協等が県の資源管理指針に基づき「資源管理計画」や「漁場改善計画」を策定（県が確認、認定）。

平成23年度末で5つの資源管理計画、20の漁場改善計画が認定されている。

##### ○概ね一月ごと

県や漁協、共済組合等で構成する「宮城県資源管理・漁場改善推進協議会」が、資源管理措置・漁場の改善の履行を確認（協議会が確認）。

※ 宮城県資源管理・漁場改善推進協議会は平成24年8月10日設立。

(水産業基盤整備課)

## 一主な取組一

### ○水産業の復興に向けた地域の取組について

#### 1 「がんばろう塩釜 水産復興フェア」の開催

塩釜地域の水産加工品の販売促進を図るため、イオンリテール（株）の協力により、平成23年1月3日（木）から6日（日）まで、県内のイオン8店舗において塩釜市内の水産加工業10数社による水産加工品の販売・PRを実施しました。

1月3日にはイオン利府店においてオープニングセレモニーとして塩釜市長、仙台地方振興事務所長の挨拶や粗品配布が行われ、仙台地方振興事務所水産漁港部職員もむすび丸の着ぐるみを着てイベントを盛り上げました。

かつおたきや塩たら、おでんセット等の練り製品、ほっけ・さばの開きといった塩干品など、豊富な種類の加工品を販売し、塩釜の水産加工品を求める大勢の買い物客で賑わいました。



#### 2 「漁協復興祭」の開催

宮城県漁協石巻湾支所、石巻市東部支所、石巻地区支所と石巻觀光協会で組織する「石巻かきブランド化事業委員会」は、石巻地域の養殖施設が東日本大震災で壊滅的被害を受けたものの、全国からの支援により、一部のカキ・ノリ養殖が再開できました。支援を頂いた方々に対し、浜が少しずつ復興し元気になっていく姿を見せたいという思いから平成23年12月11日に石巻市内で「漁協復興祭」を開催しました。

当日は、のりかき汁1000食、炭焼きかき1000個、かきシチュー200食の無料試食や焼き海苔先着100名様無料配布のほか、カキやノリの格安販売、生かき購入者を対象とした抽選会が行われました。

#### 漁協復興祭



#### 3 「唐桑養殖業復活感謝祭」の開催

宮城県漁協唐桑支所では、地域の養殖業が大震災により壊滅的な被害を受けたものの、全国各地の支援を受け、養殖業の生産再開が徐々に進められました。

唐桑の養殖業の復興への道筋をつけてくれた多くの方々に感謝する思いを表すために、平成24年3月18日に「唐桑養殖業復活感謝祭」を開催しました。

当日は、カキ、ワカメ、ホタテガイの試食や郷土芸能の披露、コンサートが催され、地元の漁業者とボランティアの方々が約2,000名参加し、盛大に開催されました。

(仙台水産漁港部、東部水産漁港部、気仙沼水産漁港部)